

(様式1)

令和4年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 034	提案機関名 畜産課
要望問題名 行動管理システムを用いた繁殖管理の実証試験	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 県内において、U-motion（デザミス社）といったIoTを活用した行動管理システムの導入農家が増えてきている。また県内酪農においては高齢化等の理由から労働力不足となっている農家も見られており、省力化につながる技術は、今後より一層重要になってきている。 そこで行動管理システムの有効性検証の一助とし、今後の普及につなげるため、以下のとおり①行動様式と病的動態の関連性、②行動管理を用いた繁殖管理の有効性について検討いただきたい。 ①フリーストール牛舎における行動様式（起立回数や反芻回数と採食量や乳量、横臥時間）と病的動態との関連性、季節変動や外気温と行動の関連性について調査するとともに、導入農家のデータ等と比較して飼養形態による行動の違いを明らかにする。 ②行動管理システムの有無により受胎率等、繁殖成績にどのような違いがあるか、費用対効果、負担軽減効果の面での調査を含めて明らかにする。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考 【参考】群馬県畜産試験場研究報告2号P1-6、同3号P8-18、同4号P1-8（つなぎ飼育式牛舎における乳牛の行動様式） ※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。	
回答機関名	畜産技術センター 担当部所 企画指導部企画研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 ⑦実施不可
試験研究課題名 (①、②、④の場合)	
対応の内容等 酪農経営における行動管理システムの利用は、データに基づく精度の高い家畜の健康管理や繁殖管理の実現とともに、観察や記録に係る農家の労力負担の軽減につながる技術として期待されており、県内でも導入農家が増加しています。 現在、当所普及指導課が県内農家における行動管理システムの導入状況や利用効果について調査を実施していますので、現状や要望等の把握に努めます。	
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
備考	